

平成 2 3 年県議会 5 月臨時会
建設交通部 提出資料

予算特別委員会 建設交通分科会

【予算案関係】

○ 建設交通政策課	平成 2 2 年度建設交通部 5 月補正予算案の概況	1
○ 建設交通政策課	東日本大震災に係る災害復旧のための職員派遣について	2
○ 港湾空港課	東日本大震災に対応した秋田港の施設整備について	3
○ 港湾空港課	入港料の減免について	6
○ 建築住宅課	県営住宅入居者に対する生活物品の支援について	7

建設交通委員会

【議案・報告関係】

○ 道路課	工事請負変更契約締結の専決処分報告について	8
○ 道路課	工事委託変更契約締結の専決処分報告について	10

平成23年度建設交通部 5月補正予算案の概況

平成23年5月11日

建設交通部

(単位:千円、%)

区 分		22年度	23年度	5月	23年度	比 較	
		当初①	当初	補正案	5月現計②	②-①	②/①
一般会計	一般公共事業	22,111,021	21,184,600		21,184,600	▲ 926,421	95.8
	国直轄事業負担金	8,099,509	6,947,060		6,947,060	▲ 1,152,449	85.8
	公共災害復旧事業	3,550,676	2,914,454		2,914,454	▲ 636,222	82.1
	計	33,761,206	31,046,114	0	31,046,114	▲ 2,715,092	92.0
	単独投資事業	15,686,768	17,176,099		17,176,099	1,489,331	109.5
	非公共補助事業	191,915	120,601		120,601	▲ 71,314	62.8
	その他行政経費	16,184,245	15,320,207	38,402	15,358,609	▲ 825,636	94.9
	計	32,062,928	32,616,907	38,402	32,655,309	592,381	101.8
一般会計計		65,824,134	63,663,021	38,402	63,701,423	▲ 2,122,711	96.8
特別会計	能代港エネルギー基地 建設用地整備事業	338,110	218,009		218,009	▲ 120,101	64.5
	※(公共事業分、内数)	(2,514,600)	(2,091,000)		(2,091,000)	(▲ 423,600)	(83.2)
	下水道事業	5,812,358	5,239,368		5,239,368	▲ 572,990	90.1
	港湾整備事業	2,901,760	2,471,601	108,000	2,579,601	▲ 322,159	88.9
特別会計計		9,052,228	7,928,978	108,000	8,036,978	▲ 1,015,250	88.8
※(公共事業分、内数) 建設交通部予算(案)計		(36,275,806)	(33,137,114)	(0)	(33,137,114)	(▲ 3,138,692)	(91.3)
		74,876,362	71,591,999	146,402	71,738,401	▲ 3,137,961	95.8

東日本大震災に係る災害復旧のための職員派遣について

平成23年5月11日
建設交通政策課

1 主 旨

- ・東日本大震災に係る災害復旧のための技術職員派遣については、全国知事会が自治体間の調整を行い、秋田県は宮城県の災害復旧業務を担当している。
- ・本災害復旧業務を行うため、技術職員の派遣に要する費用を予算計上する。

2 派遣の概要

(1) 派遣場所

宮城県石巻市 他

(2) 派遣期間及び人数

派遣期間	派遣人数	備考
平成23年4月10日～平成23年4月28日	8 人	専決処分(平成23年3月31日)
平成23年5月 9日～平成23年5月13日	9 人	//
平成23年5月14日～平成23年6月 6日	12 人	今回計上(平成23年5月補正)

(3) 業務内容

- ・県市町管理の道路、河川等の災害復旧業務（概算被害額の算定、被災箇所調査、積算、災害査定、工事発注・監督）
- ・被災した県有建築物の被災状況調査及び復旧費用の算定

3 補正予算の概要

- ・予算額 6, 165千円
- ・主な内訳 旅費、宿泊費等の活動費用
- ・今回は、平成23年5月14日～6月6日までの費用を計上している。

4 今後の予定

- ・平成23年6月初旬～平成26年3月31日にわたる長期派遣（地方自治法に規定する職員派遣）の依頼があり、宮城県と調整中である。

東日本大震災に対応した秋田港の施設整備について

平成23年5月11日
港湾空港課

1 秋田港の現状

東日本大震災を受けて、秋田港では太平洋側港湾の代替拠点として、家畜飼料・木材・石炭・コンテナなどの受け入れを行っており、平成23年3月の貨物取扱量は、一般貨物が前年比4割増し、コンテナ貨物で前年比5割増しとなっている。

増加した貨物により民間倉庫やヤードが不足し、一部貨物の受入ができない状況となっている。

また、外港地区国際コンテナターミナル整備予定地でも増加した貨物を取り扱っており、今年度のコンテナターミナル工事への影響が懸念されている。

【秋田港への入港状況】

一般貨物

H23.4.15 現在

項 目	H22.3	H23.3	前年比
入港隻数 (隻)	179	235	1.31
船舶総トン数 (ト)	1,238,845	1,561,771	1.26
取扱貨物量 (ト)	566,350	800,000	<u>1.41</u>

コンテナ貨物

項 目	H22.3	H23.3	前年比
入港隻数 (隻)	19	22	1.16
船舶総トン数 (ト)	115,345	138,229	1.20
取扱貨物量 (TEU※)	2,180	3,291	<u>1.51</u>

※TEU：20フィートコンテナ換算単位 (twenty-foot equivalent unit)

2 補正予算の概要

日本海側北部地域の物流拠点である秋田港のさらなる利活用を図り、被災地の復興支援を行う。

◎秋田港仮設倉庫設置事業

C = 26,000千円

秋田港周辺の保管施設の不足を補うため仮設倉庫を設置し、受入態勢の充実を図る。

- ・規格等 テント型仮設倉庫 (20m×30m=600㎡、2棟)
- ・設置期間 平成23年6月～平成24年3月

◎秋田港コンテナターミナル施設整備事業

C = 108,000千円

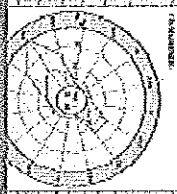
震災発生後に増加した貨物によるヤード不足の解消と、ターミナル工事を計画的に進めるため、外港地区の舗装を実施する。

- ①1号岸壁ヤード舗装 8,000㎡ 72,000千円
- ②バルクヤード脇ヤード舗装 6,000㎡ 36,000千円

秋田港港湾計画平面図 ②-110,300

東日本大震災に対応した秋田港の施設整備

【仮設倉庫設置事業】



設置候補地

至男鹿

秋田マリーナ

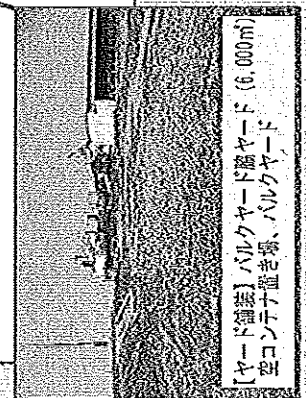
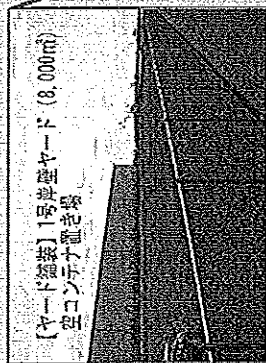
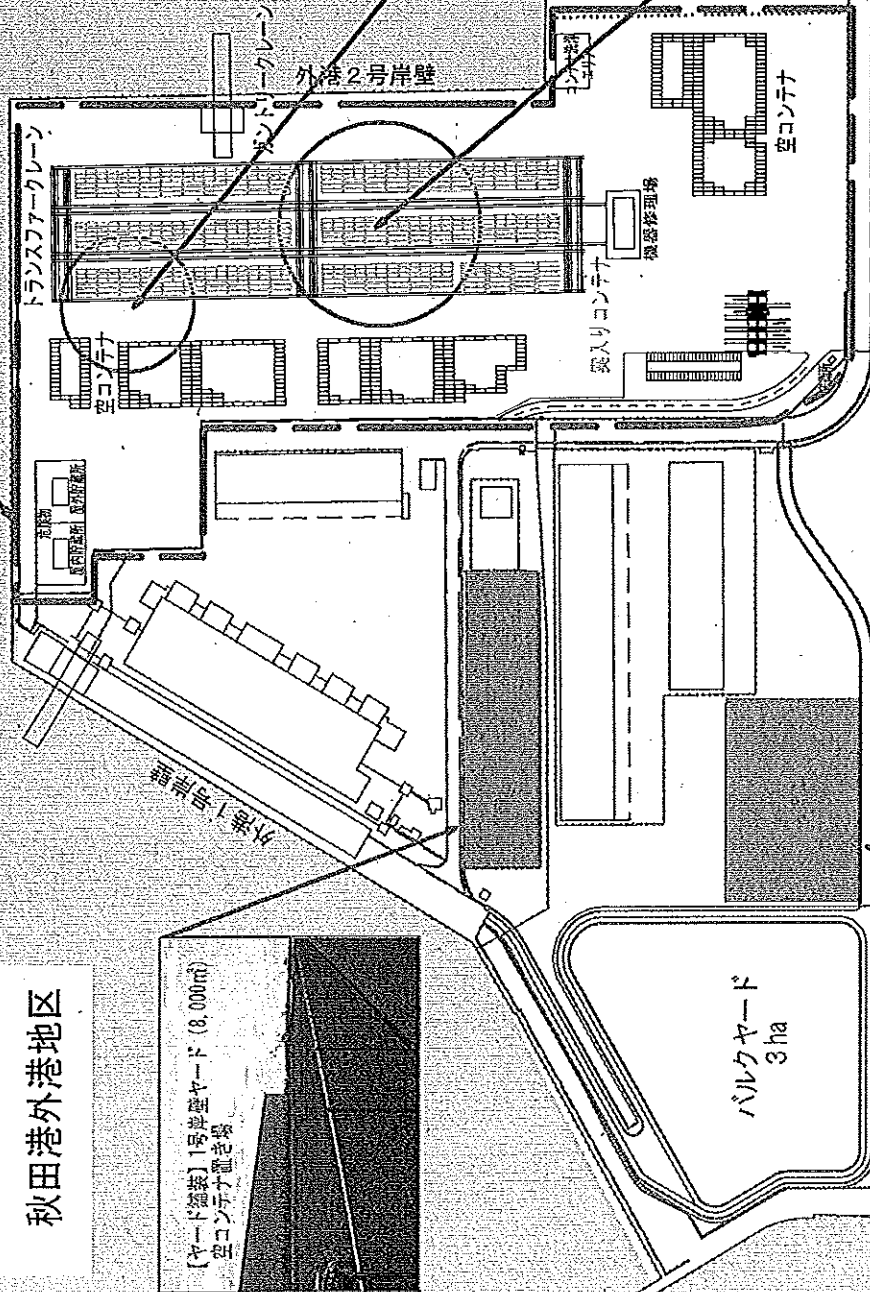
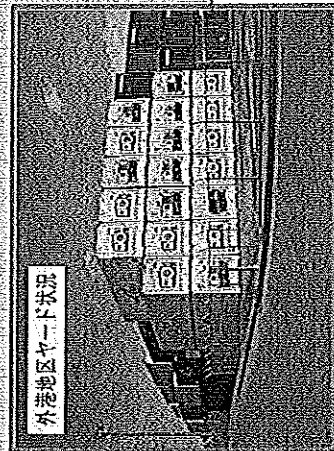
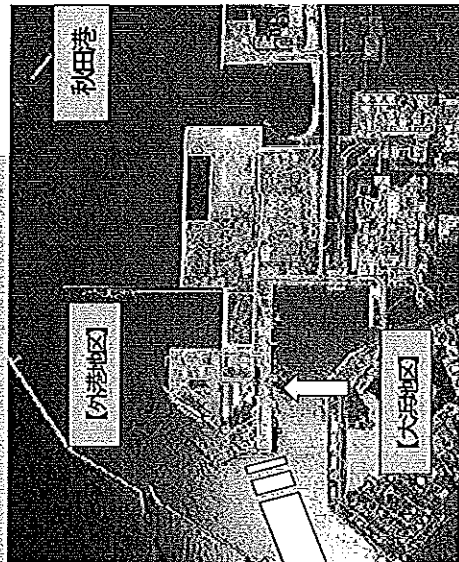
国道7号

土崎町

こまちスタジアム

區地港外港田秋

コンテナターミナル整備地



入港料の減免について

平成23年5月11日
港 湾 空 港 課

1 趣旨

東日本大震災において太平洋側港湾が被災を受けたことから、県内の港湾は、日本海側北部地域の物流拠点としての役割に加え、太平洋側の代替物流輸送の拠点としての重要な役割が求められている。

このため、被災地支援に関連する船舶の入港料を免除し、東北地方の復興復旧を支援する。

2 減免を実施する港湾

秋田港、船川港、能代港

3 実施期間

平成23年6月1日から平成24年3月31日まで

4 減免の対象船舶

- ①被災地向けの救援物資を積んでいる船舶
- ②被災した太平洋側港湾の代替として利用している船舶
- ③受入れ先が被災したため、県内企業等が引き受ける貨物を積んでいる船舶

(参考)

過去4年間（平成19年～22年）の平均入港料 約 21百万円

県営住宅入居者に対する生活物品の支援について

平成23年5月11日

建築住宅課

東日本大震災により本県に避難し、県営住宅に入居する方に対し、生活物品を提供し、入居後の安定した生活を支援する。

1. 県営住宅における被災者受入

県営住宅の空家50戸を確保することとし、次の要件で受け入れる。

- ① 使用期間 1年間（1回更新可能）
- ② 費用 使用料と敷金を免除（電気・ガス・水道等は実費負担）。

2. 補正予算の概要

生活物品	テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機、炊飯器、掃除機、テーブル、布団、台所用品等
予算	6,237千円（33戸×@189,000円／戸） ※50戸の内、17戸分は専決処分済

3. 県営住宅への受入状況

県内に避難された方を対象に、避難先市町村を通じて長期滞在に関する意向調査を実施した。その結果、県営住宅への入居希望者は17世帯であり、希望者全員に対し4月22日付けで入居の仮決定を通知した。

《県別内訳》 岩手県 2世帯、宮城県 2世帯、福島県 13世帯

【参考】

○市町村営住宅への受入状況（4月28日現在）
56世帯（入居仮決定 15世帯含む。）

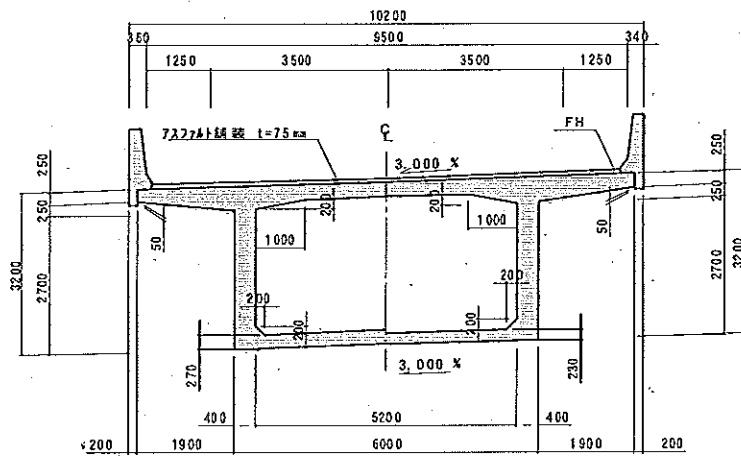
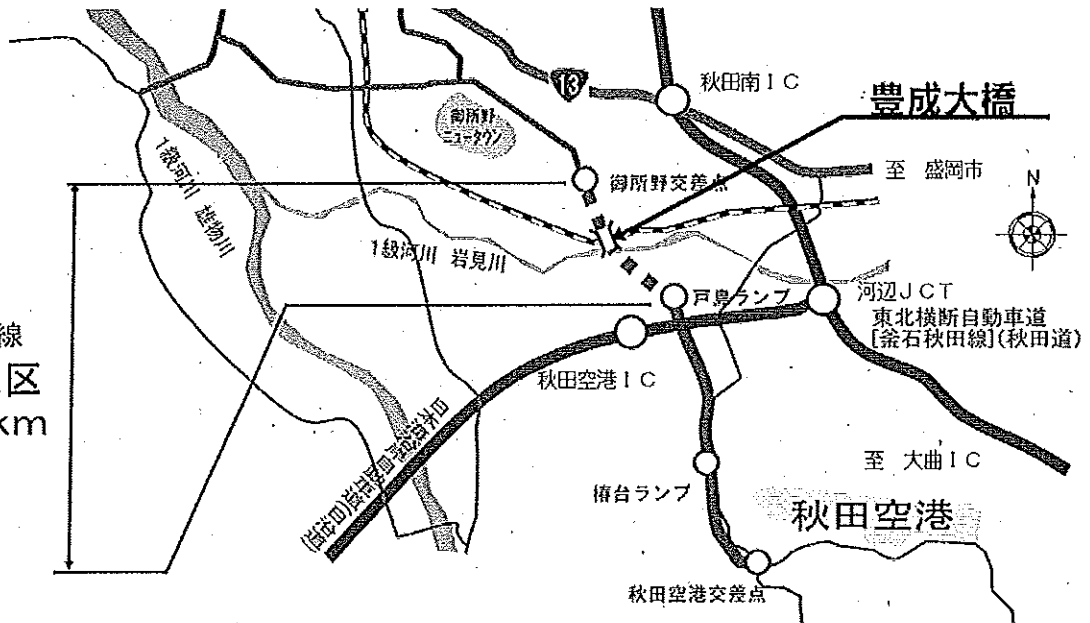
《県別内訳》 岩手県 5世帯、宮城県 12世帯、福島県 39世帯

工事請負変更契約締結の専決処分について

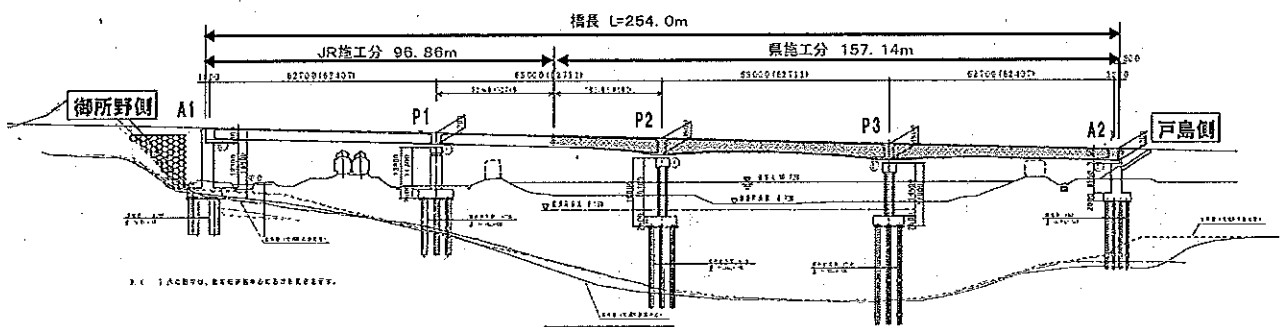
平成23年5月11日
道 路 課

- 1 工 事 名 地方道路交付金工事（HF22-N2）
- 2 路 線 名 主要地方道 秋田御所野雄和線
- 3 工事場所 秋田市河辺豊成～河辺戸島 地内（豊成大橋）
- 4 工事内容 橋りょう上部工工事
橋長 254.0m
幅員 9.5m
- 5 契 約 者 ピーエス三菱・東日本コンクリート特定建設工事共同企業体
代表者 株式会社ピーエス三菱秋田営業所長 五十嵐慶夫
- 6 契約金額 495,687,150円
- 7 工 期 前 回 平成20年12月24日から平成23年5月9日
変 更 平成20年12月24日から平成23年7月29日
- 8 変更理由
東北地方太平洋沖地震の影響により、資材の調達が困難なことから工期を延長する。

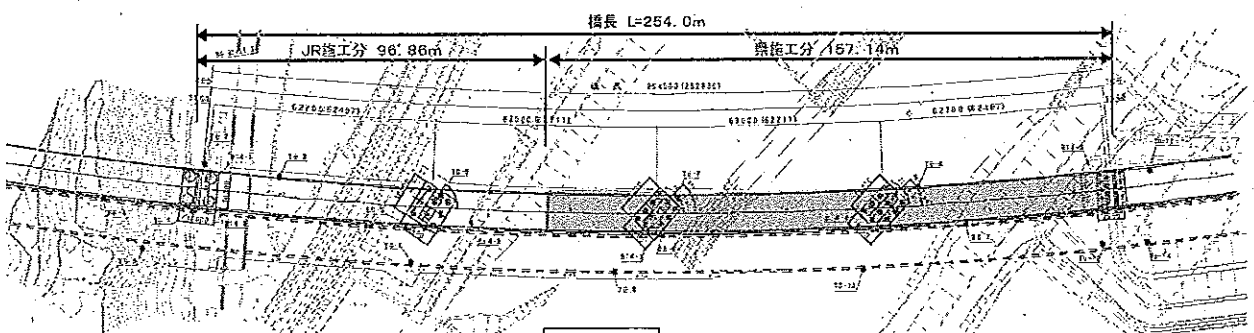
主要地方道
御所野雄和線
御所野工区
L=2.2km



上部工断面図



橋梁側面図



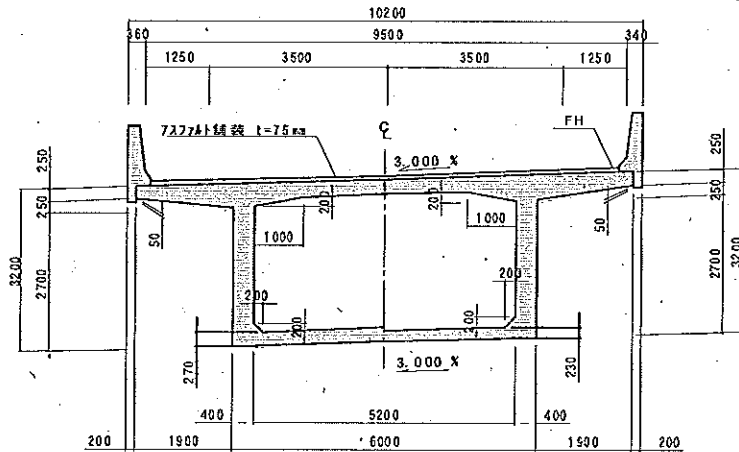
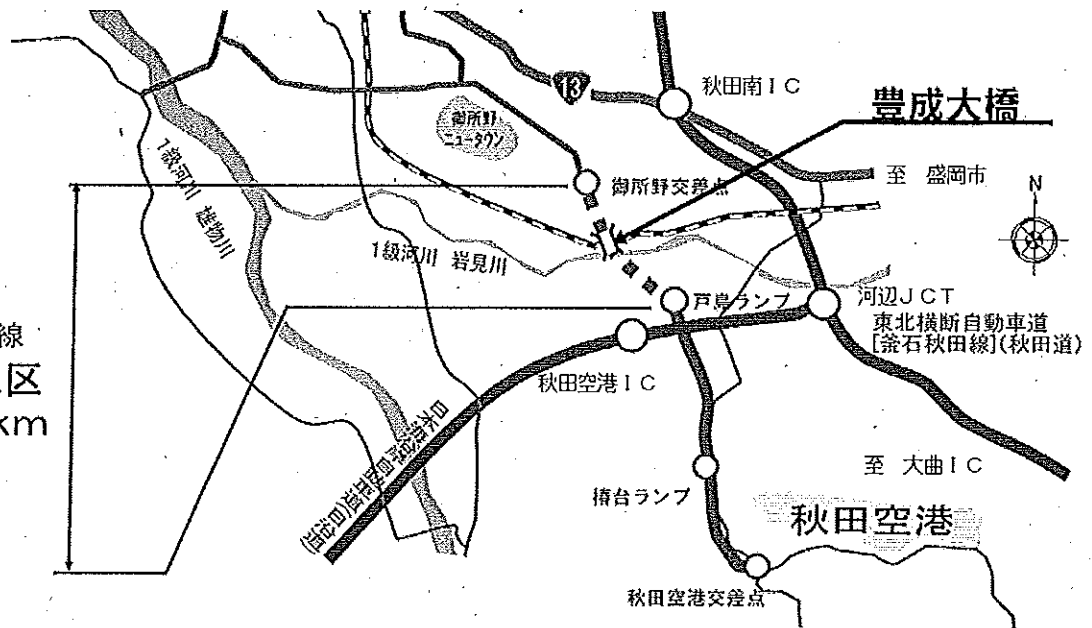
平面図

工事委託変更契約締結の専決処分について

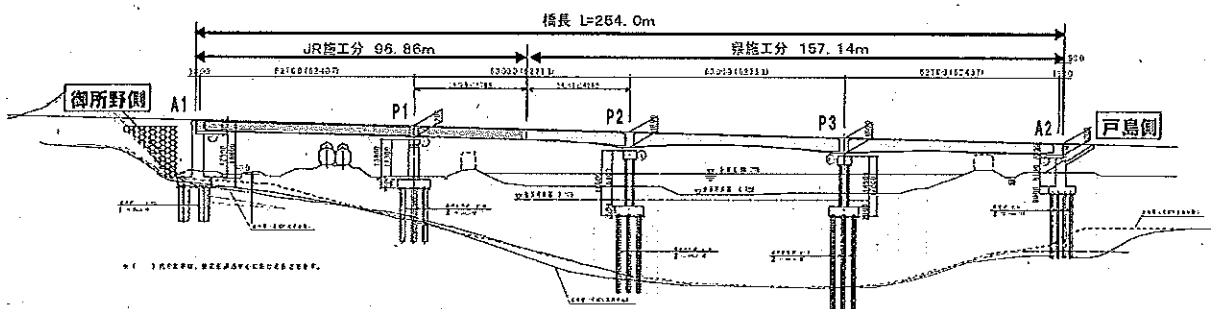
平成23年5月11日
道 路 課

- 1 協 定 名 地方道路交付金事業 主要地方道 秋田御所野雄和線
(秋田空港アクセス道路)に伴う
奥羽線和田～四ツ小屋間豊成大橋新設工事
- 2 路 線 名 主要地方道 秋田御所野雄和線
- 3 協定場所 秋田市河辺豊成 地内(豊成大橋)
- 4 協定内容 橋りょう上部工工事
延長 96.86m
幅員 9.50m
- 5 契 約 者 東日本旅客鉄道株式会社
執行役員秋田支社長 河 野 浩 一
- 6 契約金額 567,000,000円
- 7 工 期
前 回 平成22年4月28日から平成23年3月31日
変 更 平成22年4月28日から平成23年7月29日
- 8 変更理由
東北地方太平洋沖地震の影響により、資材の調達が困難なことから工期を延長する。

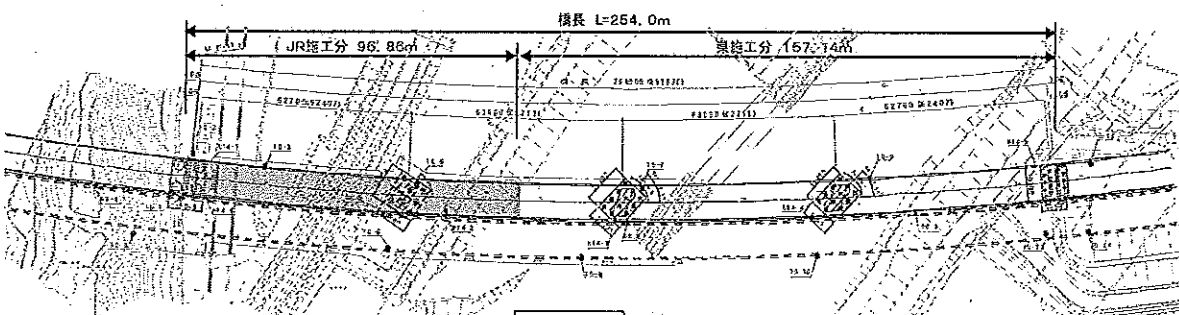
主要地方道
御所野雄和線
御所野工区
L=2.2km



上部工断面図



橋梁側面図



平面図